

事業所名

くら・らぼ多機能型事業所 (重心)

支援プログラム (参考様式)

作成日

2025 年

1 月

30 日

法人 (事業所) 理念		①「ちょっと頑張ったら出来た」と思える活動を大切にします。 ②集団活動や世代間交流を通してコミュニケーションの力を育みます。 ③保護者の応援団になります。						
支援方針		モニタリング等で挙がってきた課題を職員間で共有し、共通認識を持ち、統一した支援内容を提供していきます。 少しの出来たを見逃すことなく、また新たな出来たは職員や保護者間で共有し、適宜目標の見直し等を行っていきます。						
営業時間		9 時	30 分	17 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	(a)健康状態の維持・改善(b)生活のリズムや生活習慣の形成(c)基本的な生活スキルの獲得 ⇒皮膚状態の確認、処置、排便コントロール(浣腸)、日常生活動作に関わる支援(食事、手洗い、更衣、トイレトレーニング等)、家事動作に関わる支援(食器洗いや洗濯機の操作等) 社会生活に関わる支援(買い物体験等)						
	運動・感覚	(a)姿勢と運動・動作の向上(b)姿勢と運動・動作の補助手段の活用(c)保有する感覚の総合的な活用 ⇒感覚統合(事業所内や公園等での遊具遊び)、道具を用いた支援、体幹機能訓練(バランスボールやエアスタビライザー)、基本動作練習(寝返りや座位練習、歩行練習、階段昇降練習等)						
	認知・行動	(a)認知の発達と行動の習得(b)空間・時間、数等の概念形成の習得(c)対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 ⇒空間認知(空間や物の概念形成) 視覚・聴覚・触覚等の感覚を用いて認知機能の発達を促す。 認知行動療法						
	言語 コミュニケーション	(a)言語の形成と活用(b)言語の受容及び表出(c)コミュニケーションの基礎的能力の向上 (d)コミュニケーション手段の選択と活用 ⇒音楽、歌遊び、絵本の読み聞かせ、言葉やジェスチャー、絵カードを用い、コミュニケーション手段の確立を図る、表出手段の確立(手話等)						
	人間関係 社会性	(a)他者との関わり(人間関係)の形成 (b)自己の理解と行動の調整 (c)仲間づくりと集団への参加 ⇒ごっこ遊び(協同遊び)、集団活動への参加(世代間交流等) 他者(児)交流、公共施設への外出、買い物体験等により社会性を育む						
家族支援		定期的な面談を行うことで、子育てや家庭内での悩み事等を聴取し、療育面でのサポートや外部事業者との連携によりご家族をサポート出来るよう努めている。			移行支援		法人のイベント(周年祭や季節行事)を通して、参加してくださる地域住民の方々とも交流を図っている。地域での買い物体験等を通して、社会参加の機会を設けている。	
地域支援・地域連携		適宜、医療機関や相談支援事業所と連絡、連携を図っている。			職員の質の向上		定期的な事業所内研修の実施や資格取得等により、質の向上に努めている。	
主な行事等		高齢者施設での毎月の誕生日会への参加や屋外共有スペースでのバーベキューやプール遊び(世代間交流、他児交流)、季節行事(正月、節分、ひな祭り、七夕、プール遊び、クリスマス等)、毎月の制作活動(季節もの)、社会体験(買い物、公共施設への外出等)						